

# かんちゃん通信

令和元年5月15日(水)発行 文責：林 寛

## ～九附連総会～

大型連休も終わり、通常の園生活に戻りました。先週は、やや疲れ気味の園児も多く、なかなか園生活のリズムが戻らない子どももいましたが、それぞれ連休を楽しんだようで、たくさんのお土産話を聞かせてもらいました。

さて、国立大学教育学部の附属校園には、九州地区の集まりである九附連(きゅうふれん)や全国組織である全附連(ぜんふれん)という組織があります。

先週の10日(金)11日(土)は、本年度最初の九附連総会が大分市で行われました。

この九附連では、各大学の附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校すべての校園長やPTA関係者が集まりますが、日程の中に、幼稚園部会、小学校部会・・・と校種によって分かれて協議をする時間もあります。本年度の幼稚園部会では、佐賀の附属幼稚園と本園の育友会が発表にあたっていました。

本園育友会の発表は、昨年度の松下会長さん、森尾副会長さん、濱地研修部長さんの3名で、昨年度の主な育友会活動の紹介を発表されていましたが、大変わかりやすく各県の附属幼稚園関係者にも好評でした。

特に、父親の組織である「星パパの会」の活動には多くの関心を寄せられ、たくさんの質問が出されました。

本年度も6月の環境整備から、星パパの会の活動が本格的に始まりますが、他の附属幼稚園からも注目されている活動でもあります。

お父さん方の積極的なご参加をお待ちしています。

## ～副免実習始まる～

本園は教育学部の附属園ですので、教育実習生の受け入れと育成・指導が大きな役割の一つとしてあります。

この教育実習は大きく分けて2つの種類があります。幼児教育を専門に学ぶ学生が行う「主免実習」と、小学校や中学校の教師を目指しながら幼児教育も学び、幼稚園教諭免許の取得を希望する学生が行う「副免実習」です。

主免実習は毎年9月に4週間、副免実習は毎年5月に2週間行われます。昨日5月14日(火)より副免実習が始まりました。今回は22名の教育学部3年生が、29日(水)まで実習に訪れます。

実習生のことを子どもたちは「お勉強先生」と呼びますが、このお勉強先生たちとの出会いも、子どもたちの成長に大きな影響を与えます。たった2週間ですが、子どもたちと一緒に過ごす実習生は、子どもたちにとって身近な「人的環境」になるからです。

2週間、どうぞよろしくお願いします。